

114
A 3446

校了



紙幣論

ハンゲット新聞抄譯 五月廿一日

大正十一年四月
隈侯爵寄贈

紙幣ノ一問題ハ近時内地新聞ノ論旨トナリ論者ノ冀
々論シテ措カサル処ナリ今ヤ我輩ハ此論旨ヲ提出シ
社會上此問題ノ重要ナルヲ示サントシテ冀望ス然リ而
シテ我輩ハ日本ニ於テ紙幣ノ定限ヲ定ムルヲ意見ナ
キニ非ラサルモ暫ク擱キ預メ此国理財上ノ形况如何
ヲ陳述セスンハアル可ラス曙新聞記者ハ我輩ノ奉月
十六日ノ紙上ニ登録セル主旨ニ對シ當時人民杞憂ノ
一源タル至難ノ問題ヲ述タリ我輩今紙幣ノ発行高
ニ付テ論スルニ日本ノ国債ハ一時華士族ノ秩祿ニ立
替_レ可キ金額ヲ込メ総計二億七千六百五十二万四千六
百圓トス一千八百七十七年六月ニ至ル迄ノ會計預算



表ニ由レハ内外国債元利金償却ノ準備金額ニ属スル
モノ五百五十五万千四百四十七圓トシ且融通ノ紙幣
総額ハ九千四百万餘圓ナリト言ヘリ而シテ此粗漏ニ
シテ信スルニ是ル可ラサルノ預算表ニハ経費ノ過多
ナルニ由リ一千七百九十六圓ノ差アルヲ記載セリ蓋
シ我輩ノ此預算表ヲ以テ信スルニ是ル可ラズト為ス
モノハ其目次ヲ掲載セズ亦何等ノ解説ヲ加ヘザルヲ
以テナリ

日本ニ於テ紙幣ノ発行ハ實際上定限ナク貨幣ノ入用
ナル毎ニ今尚之レテ発行セリト言フハ人能ク知ル処
ナリ今理財上周密ナル意見ヲ还可キノ智カアル日本
人ノ勘筈ニ随ヘハ南西戦争ノ入費ハ一千八百万圓乃
至二千方ノ價額ニ下ラズ而シテ此入費ニ供スルモノ

此

ハ紙幣ノ濫製ニ由リ之レニ充可キハ疑ナシト大藏卿
ノ會計年表ニハ更ニ此等ノ事ヲ論ゼサルモ国債ノ斯
ク驚駭ス可キ増加ヲ為レ日ニ月ニ理財ノ困難ヲ極ハ
ルノ神速ナルハ深ク焦慮セズンハアル可ラサルナリ
今政府前日ノ記簿人民ノ貧富我輩ノ領知セル如キ一
国ノ財力。租税ヲ徴スルヲ方法周密ナラサルヲ熟知シ
或ハ経費ノ分類ヲ詳示セス或ハ貿易ノ自由ヲ制限ス
ル等政府ノ措置タル概子守旧ヲ以テ目的トスルヲ考
察スレハ我同業記者タル曙新聞ノ所謂堅氷論履霜至ノ
比喩タルニ至ル可キヲ免レサル也蓋シ隆氷ノ時機方
サニ至ラントスルハ一国ノ一大難ニシテ内国ノ人民
曾テ之レヲ忠告セサルハ無シ然レバ檀權ノ宰臣ハ償
却スルノ方法ヲ有セサルモ漫ニ無限ノ国債ヲ起シ償

債元利金償却ノ準備金額ニ属スル
千四百四十七圓トシ且融通ノ紙幣
餘圓ナリト言ヘリ而シテ此粗漏ニ
可ラサルノ預算表ニハ經費ノ過多
百九十六圓ノ差アルヲ記載セリ蓋
テ以テ信スルニ足ル可ラズト為ス
戦セズ亦何等ノ解説ヲ加ヘザルヲ
発行ハ實際上定限ナク貨幣ノ入用
ノ發行セリト言フハ人臆ク知ル處
ナレ意見ヲ还可キノ智カアル日本
兩西戦争ノ入費ハ一千八百万圓乃
ラズ而シテ此入費ニ供スルモノ

此と重字し計算

之レニ充可キハ疑ナシト大藏卿
ニ此等ノ事ヲ論ゼサルモ國債ノ斯
ノ為レ日ニ月ニ理財ノ困難ヲ極ハ
ノ焦慮セズンハアル可ラサルナリ
人民ノ貧富戎軍ノ領知セル如キ一
スルノ方法周密ナラサルヲ熟知シ
詳示セス或ハ貿易ノ自由ヲ制限ス
概子守旧ヲ以テ目的トスルヲ考
者タル曙新聞ノ所謂堅氷論履霜至ノ堅
キヲ免レサル也蓋レ堅氷ノ時機方
ハ一國ノ一大難ニシテ内國ノ人民
サルハ無シ然レモ權權ノ宰臣ハ債
ニサルモ漫ニ無限ノ國債ヲ起シ償

ナキ巨多ノ紙幣ヲ以テ全国ニ充溢セシメントス其紙幣ハ今尚流通シテ金銀ノ貨幣ト同轍ノ價位ヲ存スル也己ニシテ人民ハ危険ノ方サニ頭上ニ墮落セントスルヲ發見シ其勞カシテ得ル処ノ貨物ハ之ヲ放棄スル而已ナラス生命ヲ抛ツテ国事ニ從事スルノ地位タルヲ悟リ戦闘ハ日ニ遷延スルニ随ヒ紙幣ノ價位漸次ニ低價シ将来政府ノ償却如何ヲ疑フニ至ル可シ善哉
コルトマンシエルトノ言ヤ醉狂人ハ端正ノ人ト為ラサルニ非ラズト今ヤ日本ノ痴愚ナル人民ハ其地位ノ危險ヲ洞察セントスルハ勢アル亦理ヲキニ非ラサル也今其結果ヲ前見スル難キニ非ラス夫レ世上ノ人民紙幣ヲ輕視スルノ心志ヲ發スルハ即チ全国沸騰ノ乱階之レヨリ相發生セン蓋シ斯クノ如キ事變ハ日本

国ノ赤タ知ラサル処ナリト虽氏世上ノ無学ニシテ政府ヲ信任セル人民ノ為メ一大災難ヲ釀成セサルヲ得サル也

今ノ我輩ノ見タル頗ル誤謬ニ属スルニ非ラズンハ我輩ハ西郷ヨ 天皇ニ進呈セル奏文ノ主旨ハ全国ノ理財ヲ查明シ租税ノ改正ヲ為シ周密ニ一国ノ經費ヲ監査スルニアル可キヲ信スル也 聞ク西郷ノ奏文ハ陛下ノ撥斥スル処トナリ 擅權ノ宰臣ハ尚ホ朝ニ在リ全国ノ理財ヲ統理スルノ全權ヲ有シ之ヲ監査スル周密ナラス之レヲ何等ノ用ニ供スルモ宰臣ノ其責ヲ受クル一無シ日本ノ困難タル頗ル重大ニシテ遂ニ之レヲ保持スルヲ得ザル可キハ日方サニ遊キニアラントス 嗚呼之レヲ救済スルノ方法ハ果シテ如何ヲヤ人民ハ悲

泣痛哭シテ止マズ而シテ内閣宰臣中一人ノ恬トシテ
之レヲ顧リミルモノ^初ラサル也内閣ハ已ニ人民ノ信
任ヲ失フヲ領知シ或ハ忠告スルノ徒ナキニ非ラサ
ンモ愛國ノ念ニ乏シキヲ以テ今尚其職ヲ辞セス嗚呼内
閣ノ其位ニアルハ他ナレ全国ノ信任ヲ失ハサルノ間
價ナキ紙幣ヲ濫製シテ之レヲ国内ニ充溢レ此國ヲ
テ如何トス可ラサルノ巨債ニ陥ラレハルニ非ラス
シテ何ヲヤ

公教ニ由ルハ華族銀行ヲ創立シ別ニ抵当ヲ供フル無
ク政府ハ年五厘ノ利息ヲ以テ一千五百万圓ヲ借受ケ
リト由テ考フルニ此新銀行ヲ創立スルヨリ随テ一大
難ヲ醸スニ至ル可キハ智者ヲ揆タスレテ明ナリ前日
ノ理財表ニハ政府ハ華士族ノ秩祿ニ供セシカ為メ一

千七百七十^五千圓ヲ備ヘリト今ヤ華族ハ廟堂ノ
主務ニ関セル顯官ノ名義ヲ以テ一銀行ヲ創立シ其財
本ハ一千七百八十二萬六千圓即チ政府ヨリ拂フ可キ
秩祿ノ總額ト同シテ政府ノ一千五百万圓ヲ借受ル
ハ華族ノ計シテ之レヲ貸ス所ノ物ニ非ラサルカ如
シ試ミニ見ヨ今四百六十萬圓ノ銀行ノ財本ヲ供フル
ハ其秩祿ニ由ルニ非ラスヤ故ニ政府ハ言ハントス政
府ハ是^下利ニ拂フ可キ金額ノ六分ノ五ヲ借上ケ年五厘
ノ利子ヲ與ヘン今是下ヨリ借受ントスル一千五百万
圓ハ政府ノ改革ヲ要請スル南地ノ激徒ヲ鎮壓セシカ
為メ救國ノ戦鬪ニ於テ已ニ使用セリ此際ニ方リ是下
筆直ニ資金ヲ以テ政府ヲ輔カスル其志節深ク嘉ス
可シ今幸ニ是下ヨリ此金額ヲ借受ルハ政府ノ為メニ

而シテ内閣宰臣中一人ノ恬トシテ
ノ粉ヲサル也内閣ハ已ニ人民ノ信
或ハ忠告スルノ徒ナキニ非ラサル
キヲ以テ今尚其職ヲ辞セス嗚呼内
他ナレ全国ノ信任ヲ失ハサルノ間
製シテ之レヲ国内ニ充溢レ此国ヲシ
カルノ巨債ニ陥ラシムルニ非ラスレ
銀行ヲ創立シ別ニ抵当ヲ供フル無
利足ヲ以テ一千五百万円ヲ借受ケ
此新銀行ヲ創立スルヨリ随テ一大
キハ智者ヲ疎タスレテ明ナリ前日
月ハ華士族ノ秩祿ニ供セシカ為メ一

万圓ヲ備ヘリト今ヤ華族ハ廟堂ノ
名義ヲ以テ一銀行ヲ創立シ其財
二萬六千圓即チ政府ヨリ拂フ可キ
シテ政府ノ一千五百万円ヲ借受ル
之レヲ貸ス所ノ物ニ非ラサルカ如
百六十華族ノ銀行ノ財本ヲ供フル
非ラスヤ故ニ政府ハ言ハントス政
キ金額ノ六分ノ五ヲ借上ケ年五厘
足下ヨリ借受ントスル一千五百万
要請スル南地ノ教徒ヲ鎮壓センカ
於テ已ニ使用セリ此際ニ方リ足下
テ政府ヲ輔カスル其忠節深ク嘉ス
リ此金額ヲ借受ルハ政府ノ為メニ

銀行
抵当を果し無キモノ

重ノ輔カヲ為セルモノト言フ可シ今他ニ國債ヲ募
ラントスルモ格当ナク年五未ノ利子ヲ以テ償受クル
ヲ得ナルニ足下輩ニ拂フヘキ金額ヲ拂ハズ己ニ其金
額ハ費用セルヲ以テ之レヲ足下ヨリ借受ルノ分ト為
シ為メニ少クモ一千五百万圓ノ紙幣ヲ発行スルヲ得
ル也ト政府ノ斯ク迫言スルヲ得ル豈好機ナリト為サ
、ラシ哉

我輩ノ斯ク推察セシ処ノモノ未タ履行セラレタリト
言ノニ非ニサルモ己ニ秩祿ヲ以テ交換スル事實ノ公
ナシハ疑ヲ容レバ此際政府ハ紙幣ノ製造ニ從事シ戦
鬪ノ入費ニ於テ月毎ニ三百万圓ノ紙幣ヲ発行セリ其
他此戦争ヨリ生スル間接ノ費用ト随テ生ス可キ租税
ノ減少ニ至ツテハ多少ノ発行ヲ為サ、ルヲ得サル可

シ

此忠告ハ時期稍遅レタリト雖モ速ニ忠告ヲ採擇スル
ルハ以テ日本國ノ傾覆ヲ防止スルニ足ル可キ也

太
政
官